

平成28年度

宮城県職業能力開発関係表彰式

宮城県工業高等学校 機械技術部

12月1日（木）、宮城県庁2階講堂で平成28年度宮城県職業能力開発関係表彰式が行われました。本校から生徒5名が、宮城県職業能力開発協会会長表彰の技能五輪宮城地方大会成績優秀者として表彰されました。

＜表彰生徒＞

機械科3年	諏訪丈二（七ヶ浜町立向洋中）
電子機械科3年	成澤亮（南吉成中）
機械科2年	目黒達也（大河原中）
	石垣秀徳（広瀬中）
	加藤陸（郡山中）

宮城県職業能力開発関係表彰式は、業界の振興・発展に寄与した技能者や職業能力開発に貢献した者・団体・事業所を表彰することにより、広く地域社会に技能尊重の気運を浸透させ、技能者の地位及び技能水準の向上を図るために行われるものです。



校長先生と表彰された工業高校生徒「チーム工業」を囲んで

県工生の活躍を期待します！

技能検定を受検して（旋盤職種 2 級）

仙台市立広瀬中学校出身 機械科 2 年 石垣秀徳

今回受験した技能検定旋盤 2 級は自分が高校に入学してから一つの目標にしていたものでした。それは当初、先輩の作業を見て技術を身につけたい、磨きたいと思ったのがきっかけでした。2 級を申し込んだのは 1 年生の年度末で 3 級の合格発表があった数日後でした。その頃から自分は今回の検定に向けて沢山考え、様々な練習をしてきました。特に部活動の中で同期の 2 人の受験者と、見ばえや時間などを競いながら練習してきました。そのお陰で今回の検定日までモチベーションが下がることなく、つらい練習も継続できたのかと思います。また、切削する上で最高の環境を与えてくださったこと、夜遅くまで練習のため残って頂いていた先生方には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

自分の最終的な目標は競技大会に出場することなので今回の検定はあくまで通過点に過ぎません。今回の検定や今までの練習を糧に安全かつ早くものづくりができるように努力したいと思います。

技能検定を受検して（フライス盤職種 3 級）

仙台市立幸町中学校出身 電子機械科 2 年 熊谷 賢人

私は、今回フライス盤 3 級の技能検定を受検しました。検定の準備は、4 月から始めて出来るだけ毎日練習しました。まずは、部分的な練習から行い、問題が出てきたら先輩に質問して解決しました。それを繰り返すことで作業の安定さと製品の精度を上げていき、最終的に、作業時間を制限時間内に入れることが出来ました。全体を通して思ったことは、工具を大切にしなければならないということです。製品の精度を保つためには、測定器を丁寧に扱い、すばやく作業するためには、工具の場所を一箇所に決めて必要なときに取りやすい状態を維持することを心がけながら作業しました。当たり前のようなようですが、限られた時間の中ではどうしても焦ってしまい難しいことでした。

今回の技能検定は、昨年が続いて 2 回目の受験で、同じ機械加工とはいえ、使用する機械が違い最初は戸惑いましたが怪我をすることなく作業をすることが出来て良かったです。実際の作業を通して学ぶことが出来ることは多く、授業の知識をより深く理解し、応用する力をくれる場所になっていると思います。だからこそその大変さがありますが、それがものづくりの醍醐味であるとも思う経験でした。